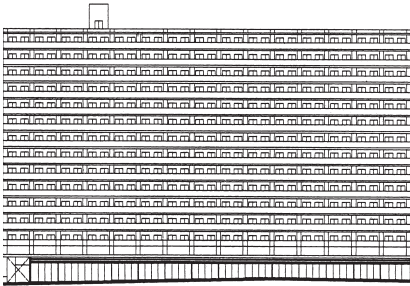


市政そここが知りたい

一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることができます。この一般質問のページは質問者が自らの責任で執筆した原稿を掲載したものです。限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナーや図書館に備えつけの会議録や市議会ホームページをご覧ください。

鴻巣駅東口駅通り再開発ビル（14階建）
・事業協力者 株式会社長谷工コーポレーション
・参加組合員 株式会社マリモ



南側立面図
店舗及び分譲住宅

問 組合施行とは名ばかり、国・事業協力者・コンサルいいなりのマンション型開発が行われている。約30年も放置されてきた。権利床転換は、地権者の納得のいくものにすべき、保留床取得には、他の事例も参考にし、納得のいくものにしていいのか。高齢者施設が破綻し、突然「防災機能公園」として市費を投ずるのは、A地区の二の舞だ。大型開発をやめ、市民福祉優先の政策にかえるべきではないか。

答 保留地の取得は、再開発組合からの要請です。保留地の個人所有は全地権者の同意が必要です。

大型開発政治をやめ 市民福祉の向上を

おりづる 菅野 博子

納税率アップ対策等

鴻創会 金子 雄一

問 納税状況の現状と今後の対策の内容は。

答 平成25年度の個人住民税の納税率は92・9%で、ここ4年間で1・1%上昇しています。人口規模が同程度の他自治体との比較では、本市は比較的少ない職員数で高い納税率を確保しています。平成23年度からコンビニ収納も開始し、今後は、クレジットカード収納や納税コールセンターの設置等について検討していきます。

問 防災訓練等の実施状況と今後の体制は。

答 実施状況は、平成25年度は93団体中48団体が、本年度は12月1日現在25団体が行っています。今後の防災訓練の体制として指定避難所の開設運営が小学校となり、各小学校ごとに自主防災組織が合同で実施することが望ましいと考えます。

- その他の質問
- ・ 年次有給休暇の取得状況等
- ・ 農業関係全般

マイナンバー制度導入 コンビニ証明書交付

公明党 橋本 稔

問 平成28年1月実施のマイナンバー制度の準備状況は。

答 準備状況は、事務分野では個人番号が利用可能な事務の洗い出しや特定個人情報提供と照会データの確認を行います。システム分野では、現在のホストコンピュータは番号制度への改修は困難なため、個人番号付番の運用テストに入れるよう、現在再構築しているところです。

今後は、事務分野では特定個人情報保護評価の実施や、特定個人情報を利用する事務の条例改正を、システム分野では関連システムの改修や統合宛名システムの構築等を行う予定です。

問 証明書のコンビニ交付の実現は。

答 まだ準備が整っていませんが、利便性の向上と効率的な事務運営を実施していくために、今後コンビニ交付の実施に向けて、費用対効果やシステム等を検討していきます。

総合病院誘致は

やさしい改革 加藤 久子

問 赤見台近隣公園に総合病院を誘致することが進められているが、鴻巣市の考えている内容では県の示す条件に当てはまらず、第一次募集は見送り、第二次募集になる。しかし、地元医師会が実施したアンケートでは、鴻巣市の考えている内容の病院には、半数以上の方が協力できないとの結果だったようだ。せっかく病院ができてもうまくいかない。医師会ときちんと協議をするべきでは。

答 地元医師会とよく協議をし、医師会の考えを真摯に受け止めながらやっていきます。

問 児童・生徒から平和の作文を募集し、その中から優秀な作品を選び、広島平和記念式典に参加をさせ、二度と戦争などすることのない、平和を守る心を育てるため、現地を直接見せることが大事では。

答 戦争の悲惨さや平和の尊さなど学習しており、現段階では式典の参加は予定していません。

住んで良かった・住み続けたい鴻巣の取組み

鴻創会 金澤 孝太郎

問 少子高齢化に伴う今後の人口問題・定住促進対策は。

答 人口減少は、地域活力の低下、経済規模の縮小、市税収入の減少等自治体の存立に関わる大きな問題です。「住んで良かった・住み続けたい鴻巣」の定住促進策は、生産年齢人口、特に20歳代後半から40歳代世代の子育て支援施策の充実を図ります。本市は「鴻巣けんこう宣言」に取り組んでおり、平成28年度の第6次鴻巣市総合振興計画の策定に向け、全庁横断的な人口問題対策プロジェクトを設置し、持続可能な都市創造に取り組みます。

問 自助・共助・公助の取り組みによる高齢化社会への対応は。

答 平成26年度からの第2次地域福祉計画は、市内16支部社会福祉協議会を活性化し、地域の中核的存在に位置づけます。また、高齢者への行政サービスは、今後見直しも図り、高齢者ニーズに合った取り組みを行います。

定員超過の学童保育室 体育館の利用料金

鴻創会 福田 悟

問 定員を超える学童保育室について、早急に改善する必要がある、対応は。

答 市内には小谷学童保育室他3カ所が定員超過となっております。今後の対応ですが、学童保育室と放課後子ども教室との連携を図り、一体化を視野に入れながら確保方策を検討していきます。



改善が必要な学童保育室

問 「総合体育館」と「コスモスアリーナふきあげ」の利用料金は大変な格差があり、早急に見直す必要があるのでは。

答 来年4月に「総合体育館」がリニューアルオープンします。2つの料金格差を無くす必要があると考えています。来年度の公共施設料金見直しの中で、十分協議を重ねていきます。

プロジェクトチームで 市人口の減少対策を

民主党 長嶋 元種

問 政府は「まち・ひと・しごと創生法案」を臨時国会に提出し11月21日成立した。これに対応し「市人口減少地方創生プロジェクトチーム」の設置を行う考えはあるのか。定住対策や雇用促進のため市総合戦略の策定と平成28年度から5力年の計画にどんな施策を盛り込むのか。他市には、市民を正規雇用する企業に奨励金を支給したり、転入者等が住宅を取得すると交付金が出たりする制度がある。市の出生率は、政府が示した当面1.8程度を目標とするのか。

答 国や県の「創生総合戦略」を勘案しつつ、本市における人口の現状や将来見通しを踏まえ、市の総合戦略と5力年計画を検討いたします。計画策定には、全庁横断的な議論が必要なため、プロジェクトを設置して取り組みます。

市人口等の将来見通しの推計にあたりましては、国の目標値1.8を参考といたします。

資源ごみの持ち去り 防止対策は

鴻友会 頓所 澄江

問 条例の一部改正、パトロール、防犯カメラ、GPS等により持ち去り防止効果があった自治体もある。市民生活の安心・安全の確保のために「鴻巣市廃棄物処理及び清掃に関する条例」の一部を改正する考えは。

答 子供会や小中学校のPTAなどの任意団体が資源を回収し、有価にて収集運搬処理業者に引き渡す「集団回収事業」は、有効な対策のひとつです。今後も継続的に集団回収の取組を推奨していきたいと考えています。

地域の犯罪を未然に防ぐためには、行政と地域との連携、地域の皆さんの「監視の目」を光らせることが重要です。ごみ出しルールの周知、持ち去りの現場を目撃した時の情報等を回覧や広報ホームページ等を活用してお知らせをしていきます。



中央自治会自主防災会

インフルエンザの助成 市役所第二庁舎の計画

鴻創会 並木 正年

問 子育て支援策としてインフルエンザ予防接種費用の補助を出している自治体が増えている。本市の考えと今後の取り組みは。

答 埼玉県内で小児等を対象としたインフルエンザ予防接種費用の助成を行っている自治体は63市町村中、13市町村です。鴻巣市医師会を含む北足立郡市医師会、北本市・桶川市・伊奈町の各行政による意見交換を行っていますので、今後も協議の場で検討していきます。

問 市役所の新館へ福祉課や市民課などが移動した後、本庁舎は耐震工事が始まり、工事完了後には第二庁舎から教育委員会などが本庁舎に移動する。空いた第二庁舎の今後の計画は。

答 第二庁舎は過去に一定の改修を行っており、行政的な再活用の可能性も含め多くの利点を備えている施設です。

最終的な活用方法等については多方面から議論し、早急に結論を得ていきます。

かわさとフェスティバル

かいえんたい 大塚 佳之

問 長きにわたり、継続されてきた地域事業「かわさとフェスティバル」について、昨年との比較や今年の評価、今後の改善点、将来的な展望等について伺う。

答 平成2年に《ゆとりゆたかさをめざして》をテーマに第1回が開催されました。11月9日の当日は、不順な天候にもかかわらず約1万1千人の来場者がありました。熱気球のイベントは中止となりましたが、ステージ上の演技、会場内での模擬店、芝生広場でのミニSLなど大変好評でした。今後の改善点として、新たな来場者への案内に工夫を凝らすなど検討していきます。さらに、青年層への呼びかけを積極的に行い、参加団体の増加や実行委員会の拡大に努めていきます。



ヒーロー戦隊は、いつも人気です!!

吹上富士見保育所は 低年齢保育で存続を

コスモスクラブ 中野 昭

問 吹上富士見保育所の存続について、平成30年4月鎌塚地区に開園予定の（仮称）コスモス保育園の分園と位置づけ0歳から2歳児及び障がい児保育所として存続すべきと考えるが、執行部の見解は。

答 次世代育成支援対策地域協議会でも同様の意見がでており、当分は低年齢児対象の施設として吹上富士見保育所を存続すること、新設保育園の分園とするという案もひとつの選択肢として考えているところです。

問 赤見台近隣公園基本構想策定の完了時期について伺う。

答 これまで、赤見台地区の自治会や地元小中学校のPTA、老人会の代表者等で構成するワークショップを4回開催しました。5回目を平成27年1月に開催し、再整備構想の素案をまとめ、その後、赤見台地区の皆様のご意見を伺い、最終的な再整備構想案を平成27年3月を目途に策定したいと考えています。

三世代同居及び近居 結婚支援の取り組みは

鴻創会 坂本 国広

問三世代同居及び近居するメリットと実施できる優遇措置は。

答祖父母による子育てへの協力、子供の情緒面の成長、高齢者の介護や孤独防止、孫の成長を間近にみることでの生きがい等、多くのメリットがあります。優遇措置は、国の動向を留意して、研究課題といたします。



問結婚支援相談員を市内全域の自治会に配置し、定期的な情報交換の場を設ける等の取り組みは。

答個人情報取り扱い等難しい課題があり、今後、このすたの花コンの実施を支援し、その成果を見守っていきます。

問勤労青少年ホームの講座を婚活という観点での実施は可能か。可能と思われる。年間事業計画の中で、参考とします。

胃ペプシノゲン検診・ こころの体温計の効果

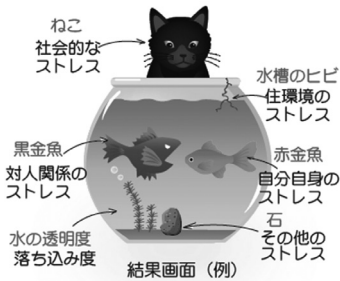
公明党 川崎 葉子

問平成25年6月から実施の胃ペプシノゲン検診の効果は。

答40歳から75歳までの5歳刻みの対象者1万3千520名のうち、受診者は1千298名、陽性者は261名、精密検査を受診した方が159名、うち4名が胃がんの診断という結果で、胃がん検診の受診につながる有効なものとして認識しております。

問こころの体温計のアクセス分析をどう生かすのか。

答6月から10月まで月平均5千900件のアクセスがあり、利用状況の分析から、男女とも10代、20代の若者の、うつの傾向にある状態や心のケアを必要とされる割合が高いことが伺えますので、広く自殺予防対策事業を推進するうえで活用していきたいと考えております。



家庭教育の支援は

鴻友会 織田 京子

問子どもにとって、家庭教育は重要である。小学校に入学するまでの六年間を家庭でどの様に育まれ教育されたかで、その子の一生が決まると言っても過言ではない。いじめが多発している今日、人を思いやる子どもを育むのは親の務めでもある。本市に「鴻巣市いじめ問題対策連絡協議会」が設置されるが、家庭と学校とどのように連携していくのか。

答協議会を設置する事により、いじめ防止等に関係する機関及び団体のより一層の連携を図ると共に、家庭や地域社会との協力を深め、市全体で子どもの健全育成に取り組みます。その構成員は、学校教育の関係者、児童相談所等の関係行政機関の職員、保護司会等の関係団体の代表者、市の職員、PTA連合会の代表者です。家庭、学校、地域の連携を密にして、生涯学習課の事業も含め支援します。

西部第三排水区雨水整備 事業の内容

かいえんたい 秋谷 修

問田間宮地域の雨水対策として、今年度より事業を行っている雨水管渠整備の内容とスケジュールは。

答平成26年度からは、大間雨水ポンプ場から荒川左岸通線までの区間を2カ年にかけて、また、荒川左岸通線から緑町までの区間は、平成28年度から平成30年度完成を目標に雨水管渠整備を行う予定です。大間雨水ポンプ場から鴻巣西中学校脇の水路については、上尾道路整備の計画地と重複するため、今後の道路整備の状況を見ながら推進が図られるよう検討します。

問当初2カ年分の工事が完了した場合、供用開始により、逆川を流れる雨水を直接荒川に流すことができるのか。

答当初2カ年分の工事は、荒川左岸通線脇で暗渠化された逆川と接続する計画となっており、逆川上流部の排水を取り込むことから、周辺の道路冠水や浸水の軽減が図られると考えます。